

各 位

会社名 株式会社エッチ・ケー・エス
 代表者名 代表取締役社長 水口 大輔
 (コード 7219 東証スタンダード市場)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役財務部長 赤池 龍記
 電 話 0 5 4 4 - 2 9 - 1 1 1 1

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月15日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年8月末時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2022年8月31日時点におけるスタンダード市場への適合状況は、以下のとおりとなっており、株主数につきましては2022年8月31日までに基準を充たす見込みとなっておりましたが、現時点で基準を充たすことはできませんでした。当社は、株主数に関して、下記のとおり、計画期間を1年間延長して、2023年8月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の適合状況 およびその推移	二次判定(2021年 2月末)時点	310人	5,305単位	10.2億円	33.1%
	2022年8月末 時点	389人	5,316単位	10.5億円	33.2%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
当初の計画に記載した計画期間		2022年8月	—	—	—
変更後の計画期間		2023年8月	—	—	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況および評価(2021年12月～2022年8月)

当社は2021年12月15日に公表しました「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において、個人株主の増加を課題として、未達となっている「株主数」の基準達成を目指してまいりました。

具体的な取り組みといたしましては、市場での流動性を高めるため、金融機関との間で政策保有株式の全部または一部の持ち合いの解消を協議し、株式の市場での売却をお願いいたしました。結果として金融機関の所有株式数は1年間で28,700株減少いたしました。

また、情報開示の拡充を通じて、当社の認知度を向上させることで、株主数の増加につながるよう努めてまいりました。具体的な取り組みといたしましては、当社ホームページのIR情報の充実、また、新聞等への当社記事の掲載を行ってまいりました。結果として当社の2022年8月末時点の株主数389人のうち、2021年9月から2022年8月の1年間で新規に株主になられた方の数は102人となっております。

3. 上場維持基準の適合にむけた今後の課題と取り組み内容

上記のとおり、2022年8月31日時点において、株主数は389人と、上場維持基準に11人足りない状況となっております。当社は、計画期間を1年間延長して、引き続き個人株主数の増加を課題として、取り組みを実施してまいります。

株式の持ち合いの解消を了承していただいた金融機関および事業法人に対しては、引き続き株式の速やかな売却をお願いしてまいります。

情報開示の充実につきましても、当社ホームページへの決算概況書の掲載および決算短信の英文開示等を予定しております。

以 上